山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L:西尾、SL:保木本、西、犬飼、宮島、仲島、藤戸

2. 山城/ルート 比良/へく谷

3. 交通手段 車

4. 行動記録

入山日 29年 8月 5日(土)

6:00 神戸発-9:00 入溪-12:10 二俣-13:20 小女郎池着-15:00 坂下集落着-15:20 入溪地点に戻る

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか?

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・ほとんどの滝が直登出来、シャワークライムを楽しめた。
- ・いつも通り、湖西道路の渋滞に巻き込まれた。
- ・入溪地点のすぐそばに駐車出来、下山時間も比較的短く道もしっかりしており、教室向きの沢だった。
- ・一人1匹程度、多い人で5匹ヒルが引っ付いていた。
- ・入溪点で釣り師に会った。

- ・③2条 12m 滝は左から登って、右に移って越えた。ロープは出さずお助け紐のみ。
- ・ロープは一か所も使用しなかった。
- ・④2段 15m と⑤18m は意図せずよく分からないうちにまとめて左岸を高巻いていた。
- ・奥の二俣から小女郎池へ向かうところも、うまく踏みあとをたどったルートファインディングで藪漕ぎすることなく到達した。
- ・帰り道で 600m 付近の1箇所だけ軽く登山道を見失った。
- ・くつき温泉てんくうも比良とぴあも逆方向になるため、温泉には入らずに帰った。
- ・Iさんは数年ぶりで久しぶりの沢登りだった。久しぶりに沢靴を使用した。登りのおわり頃にフェルトソールが剥離したためテーピングで固定した。以前にMも堂倉谷で同じような目にあっており、数年ぶりに沢靴を使用する場合は接着剤が劣化している場合があるようで要注意。

報告者氏名 西尾

29年 8月 18日